

# たかさご新聞

発行  
高砂大学校同窓会  
会長 小野 隆  
〒920-0901  
金沢市彦三町1-15-5  
金沢中央公民館2F  
TEL (076) 261-8101  
FAX (076) 261-8149  
(HP)http://www.takasagoob.net



QRコードで  
ホームページへ

## 第117期高砂大学校 修了式

第117期高砂大学校修了式が1月16日(水)午前10時30分から大研修室にて行われました。

代表が野口弘教育長から修了証書を授与されました。また76名の皆出席者を代表して千代芳正さんが皆出席証を授与されました。

村山卓金沢市長からの祝辞および小野隆同窓会会長祝辞の後、修了生184名を代表して米永吉範さんが謝辞を述べられました。



### 村山卓 金沢市長 祝辞

みなさんお早うございます。祝辞に先立ちまして今年1月1日に令和6年能登半島地震がございました。222名の方がお亡くなりになったというところであります。お亡くなられた方々にお悔やみを申し上げます。そして今なお1万6700人を超す方々が避難所で生活をされております。安否不明の方もいらっしゃいます。この方々に対してなんと申し上げていいかというよう

な気持ちで言葉が詰まってしまう状況でありますけれども、1日も早く日常が取り戻せるようお祈りしたいと思います。

本日、ご出席の皆様方におかれても心をお寄せいただければというように思っております。また金沢市内でも被災された方々もいらっしゃいます。そしてお亡くなりになった方々もいらっしゃいます。また、能登地域に親戚お友達もいらっしゃる方々も多いというように思います。そういったことからもお気持ちを寄せたいと思っております。

さて、本日晴れて修了の式を迎えられた117期の184名の皆様方誠におめでとうございませう。117期の方々はこの学びを始められた4月は新型コロナウイルスの感染症法上の類型が2類でした。そして、5月に5類に変わりましたけれども、このコロナ禍との戦い、さらにはインフルエンザとの戦い、また1月の地震もありました。様々な環境が変わる中で学び交流を継続いただいたということに敬意を表したいと思います。

そしてこの講座の中では仲間作りという講座もございました。この学習はもちろんなこと仲間作りの経験は大事にして、これから高砂大学校の同窓会の自主サークルでの活動、あるいは高

砂大学校大学院もございませう。そちらの学校でも結び付けられればというふうに思っています。

この経験をもとに未来を担う子供たちを育てたいと、あるいは地域の公民館などでのコミュニティ活動に勤めていただくということも期待しているところであります。

改めて皆様方のこれまでの学びの継続、交流の継続にできる方針、そしてこれから皆さんが健康でさらに学習を追究されることを期待申し上げて私の修了に当たっての祝いの言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

## 第58期高砂大学校 大学院 修了式

第58期高砂大学校大学院修了式が1月17日(水)午前10時30分から大研修室にて行われました。

歴史民族科80名(代表・廣瀬禮子さん)、花樹園芸科79名(沖野喜代子さん)、文学



美術科77名(金井徹さん)、悠々健康科53名(上森敦子さん)のそれぞれ代表が野口弘教育長から修了証書を授与されました。

また67名の皆出席者を代表して田中清之さんが皆出席証を授与されました。村山卓金沢市長からの祝辞(公務のため欠席で山田啓之副市長の代読)および小野隆同窓会会長祝辞の後、修了生

289名を代表して斎藤直さんが謝辞を述べられました。

皆様おはようございます。いい天気になりました。皆様のこれまでの学びを讃えるかのようないい天気です。これから式典を始めさせて



いただきますが、はじめに今回の震災によって多くの方々が被災をされております。そのことを始めに述べさせていただきます。1月1日に発生した地震により能登地方は未曾有の災害に見舞われました。方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、災害から

り被災された方々が穏やかな日常を戻されることを心よりお祈りを申し上げます。さて寒さ厳しさの中に立春を間近に控えた本日ここに金沢市長村山卓様の御名代を金沢市副市長 山田浩之さん、本大学校同窓会会長 小

野隆様のご臨席を賜り、令和5年度第58期高砂大学校大学院の修了式を挙行できましたことは大変に大きな喜びであります。91歳の受

講生をはじめ289名が終了されました。本大学院は昭和46年の開設から皆様方を含め1万4980名が終了され、多くの市民の皆様が本大学院で学んでいただきました。

皆様が高砂大学校終了後まは本大学院の他の学科を終了後、継続してさらに各専門分野について知識を深められました。その学習意欲に改めて感銘を受けますとともに本日終了されますことを心からお祝いを申し上げます。そして敬意を表

日本は今、人生100年時代を迎えており、社会の中で高齢者の果たすべき役割はますます大きくなり、期待も高まっています。これから日々の学びを生涯にわたって続けられますとともに、本大学院で学び身につけた知識や教養を地域社会に生

かしていただけますよう期待しております。合わせて皆様方には本大学院で出会った多くのお仲間との交流をさらに深めていただきますとともにますますお元気で活躍されますよう、心からお祈り申し上げます。心から祈り申し上げます。本日は大変おめでとうございませう。そして私、実は今

年で72歳を迎えます多くの先輩の方がいらつしやいます。皆さんをお手本としてこれからも日々仕事に頑張っていくたいと思っております。本日はおめでとうございませう。

### 小野隆 同窓会会長 祝辞

年初から大きな災害が発生しました。令和6年能登半島地震で被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。

皆さん、本日は高砂大学校大学院第58期修了おめでとうございませう。高砂大学校大学院は「同窓生の交流を深めて、楽しい人間関係を築き、また互



いに助け合うことにより生きがいと求め、より明るい社会生活を送ることを目指します」との目的を指し学習されました。高砂大学校を終了され既に高砂大学校同窓会会員に加入、役員になり活躍されている方々、また、同窓会自主グループで活動に励んでいる皆様もいらつしやいます。特に昨年は「同窓会創立60周年記念」を迎え来賓として金沢市村山卓市長はじめ関係者の皆様にご臨席いただき「創立60周年記念式

典」を開催いたしました。そして沢山の皆様にも、ご協力いただきましたことに感謝いたしております。また多くの会員の皆様からも大変暖かい感動の言葉を頂き大きな行事をやり遂げたと思っております。

私たち高砂大学校同窓会として現在加入会員数は1956名、最高齢の方は104歳でグループ活動にも励んでいらつしやいます。そして71のクラス、60の自主グループで2600名の皆様

が教養と健康増進に活動し、楽しみを満喫しています。終了される皆様、大学院で学習された社会の変化、そして高齢化に対応できるように柔軟な思考力と健康寿命を目指すことで高砂大学校同窓会の活動を通じて「健康づくり」「仲間づくり」「生きがいづくり」に励んで、真心と思いやりの心が触れ合う活動に力を添えていただき、同窓会のより良い運営を盛り上げていただきますよう期待しております。

結びに終了後は同窓会として掲げております「明るく、楽しく、そして笑顔で」をモットーに大学院学習の時につちかわれた交流の絆を深めていただき、活躍されることを心から期待申し上げます。ここに重ねて終了をお祝い申し上げます。私の祝辞といたします。おめでとうございませう。

### 大学院修了生代表 謝辞

116期2組 斎藤直

謝辞。本日ここに金沢市長村山卓氏並びに高砂大学校同窓会会長 小野隆氏をお迎えし、第58期高砂大学校

大学院を修了するにあたり、修了生を代表して感謝の言葉を申し上げます。幸いなことに、今年度はコロナ禍の制約を受けずに活動することができました。講座を通じて新しい知識や技能の習得ばかりでなく、同級生間の交流が深まり、新しいコミュニティができたことも大きな喜びであります。これも大学院での学習の賜物と深く感謝をしております。ありがとうございます。

人生100年時代を迎え、私たちの願いは常に学ぶ心を持ち元気で豊かな社会生活を築くことにあります。大学院で学んだことを大きな糧として、これからも学び続けなければと念じております。

この1年、金沢市教育長野口弘様をはじめ、中央公民館彦三館の皆様方、とりわけ学習指導員の澤田先生には大変お世話になりました。本当にありがとうございます。

最後になりましたが、高砂大学校大学院の今後の益々の充実とさらなる発展を祈念し、感謝の言葉といたします。



最後に、高砂大学校大学院の今後の益々の充実とさらなる発展を祈念し、感謝の言葉といたします。

